

首都大学東京同窓会 [大学祭協賛イベントのご案内]

11月3日(金)から11月5日、南大沢キャンパスで行なわれる第二回[みやこ祭り]に首都大学東京同窓会は2つのイベントを提供いたします。どうぞ秋たけなわの中で開催される[みやこ祭り]においで頂き、イベントにご参加ください。

アクセスについては、みやこ祭り公式ホームページをご覧ください。

<http://miyakomatsuri.com/index.htm>

なお、[同窓会入会勧誘コーナー]は南を門入って直ぐ右1号館 エントランスで開催しています。

開催時間 : 11月3日～5日 午前11時～4時
卒業生の方も是非お立ち寄りください。



昨年のイベントステージ

学内は黄葉・紅葉が始まっています。

1) 首都大学東京同窓会講演会

卒業生による講演会を開催します。

犯罪全体の発生件数は減ってきているのに、例外的に詐欺罪だけが、増え続けています。「振り込め詐欺」の増加により、10年前に比べ約2倍に増え、年間約85,000件になりました。「時代の鏡としての詐欺罪」を取り上げ、「卒業生による講演会」を開催します。身近な問題の講演です。ぜひ、お聴きください。

日 時 平成18年11月4日(土) 午後2時30分より午後3時40分まで

会 場 首都大学東京南大沢キャンパス

1号館 教室棟 120番教室

テーマ 現代社会と詐欺罪

講 師 首都大学東京都市教養学部法学系長・教授

法学博士 木村光江氏(都立大学法学部第27期卒業・院法29期)

説 明

詐欺罪の手口は、時代とともに変化してきました。平成4年に最も数の多かった手口は、カード詐欺です。偽造や盗んだクレジットカードなどを用いて商品を騙し取る行為です。それが、様々な方法により防止が図られ、現在では半減しています。また、豊田商事事件などの利殖詐欺、「法の華」などの宗教をかたった詐欺なども発生しています。時代を敏感に反映する詐欺罪という犯罪を通して、現代社会の問題を考えてみたいと思います。

1) 中世ヨーロッパの放浪楽師の世界を現代に甦らせる古楽器演奏 卒業生による古楽器演奏会を開催します。

人文学部 中国文学 31 回卒 近藤 治夫さんは自ら古楽器を作り、ジョン・グール・ボン・ミュージシャンを結成、中世ヨーロッパ放浪楽師の世界を現代に甦らせています。是非、演奏会にお出かけください。



中世ヨーロッパを遍歴して歩く放浪楽師。彼らは、バグパイプ、ハーディガーディ、中世フィドルといった怪し気な楽器を操り、街や村の広場、居酒屋、祭りの場に出没し、音楽を演奏しては人々を熱狂させていた。多種多様な古楽器を用いながら、中世やルネサンスのダンス音楽、中世カルミナ・ブラーナのざれ歌を中心に、放浪楽師の音楽を現代に甦らせる。

日 時 平成 18 年 11 月 4 日 (土) 午後 2 時より午後 3 時まで

会 場 首都大学東京南大沢キャンパス イベントステージ

午後 1 時半より、南大沢駅前からラ・フェット多摩～南門～イベントステージ
までバグパイプなどによる[練り歩き]を行ないます

雨天の場合 1 号館 教室棟 120 番教室 1 時 15 分から 2 時

出演者 ジョン・グール・ボン・ミュージシャン

辻康介 (歌、語り) 久保田潤子 (歌)

駒澤隆 (中世フィドル、パーカッション)

近藤治夫 (バグパイプ、ハーディ・ガーデ)

演目 中世ヨーロッパの街の広場、酒場、農村で歌い継がれた数々の名曲

ジョン・グール・ボン・ミュージシャンのHP <http://www21.cds.ne.jp/~komazawa/index.html>

近藤 治夫さんの[バグパイプ工房]HP <http://page.freett.com/bagpipes/>